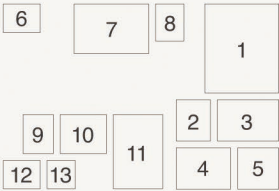




- 1-農地 2-畑を見下ろす人 3-抜け道  
4-花の収穫 5-細い抜け道 6-中道  
7-大浴場 8-時計 9-神社の階段  
10-お神輿 11-下長谷の洞窟 12-火  
葬場跡地 13-お地藏様



## シーサイド温泉ゆうばえ



**西** 側に夕陽の沈む水平線、南側に若狭湾を囲む半島群がおぼろげに浮かび、癒されながら温泉に入る。仕事終わりに足しげく通った。こじんまりとしたサウナで交わす常連さんとの世間話はいつも楽しく、心も体もリフレッシュできる。



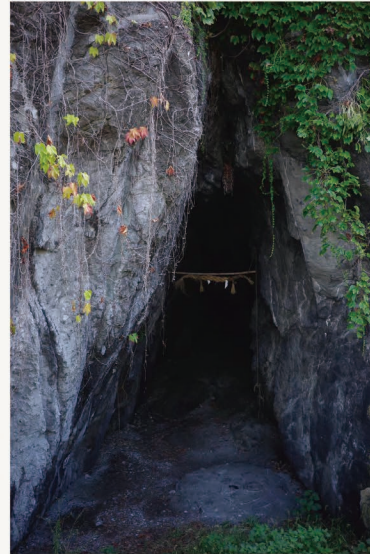
## 段丘上の農地

**中** 道・住宅街の抜け道から東に登っていくと段丘上の畑エリアへ。視界いっぱいに海が広がり歩いているだけで最高の気分だ。まち歩きをした方がここを気に入り、放棄された畑を借りて養蜂を始めた。夏は、すぐそばの海で花火があがり迫力満点の音が崖に反響して楽しい。



**後** つねよし 醍醐天皇と皇子 恒良親王を御祭神とする二ノ宮神社。敗戦で逃れた恒良親王を護るため、二ノ宮神社の真下にある下長谷の洞窟にかくまったという伝説がある。境内からは集落ぜんぶを見渡せ、社殿と鳥居の方角は漁港を向いているように見える。漁村としての海への祈り・信仰心をひしひしと感じる。

## 下長谷の洞窟 二ノ宮神社



**火葬場跡地** 岩 肌がむき出しの大きな壁。ここは火葬場跡地で、中心部に斎場ができるまで集落で火葬していた。亡骸は、小さな小屋で1日かけて燃やされ吊われた。

